

むら塾 だより

むら塾だよりは東大むら塾と地域の連携の一環として作成しています。

2021年

春号

2021年4月5日発行

編集長 大野麗

編集 早川芽生

01

代表挨拶

花便りも伝わる今日この頃、相川・梨沢地区の皆様はいかがお過ごしでしょうか。現在、東大むら塾代表を務めております、農学部生命化学・工学専修3年の井上太喜（いのうえたいき）です。

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で地域への訪問も充分には行えず、オンラインでの打ち合わせや企画が主な活動となりました。皆様となかなかお会

いすることができず歯痒い思いをしたとともに、様々な制限のもとでむら塾ができることを一生懸命考えた一年間となりました。

さて、創設6周年目を迎える今年度は、皆様との繋がりを再び強いものとするべく、感染症対策に配慮しながら実地活動を本格的に再開して参りたいと考えております。従来行っていた稲作や野菜栽培だけでなく、新たにホップやハーブの栽培も行う予定です。

また、今月からは新入生の入会も始まります。田植えの際などにはお世話になりますが、よろしく願いいたします。

昨年度に蒔いた様々な活動の種から芽が出て花が咲き実がなるよう、引き続きむら塾一同楽しみながら活動していきたいと思っております。今後ともご協力よろしく願いいたします。



高山休耕田企画

文科一類2年の玉井遥人（たまいはると）と申します。昨年から構想を進めている高山休耕田復活企画のご紹介をさせていただきます。

この企画では、カインズグループの株式会社エクスさんの工場敷地内にある休耕田を活用した作物の栽培を目指しています。岐阜県高山市という土地柄を活かし、蕎麦や越冬野菜の栽培を考えております。新型コロナ禍の影響で未だ現地訪問が叶っておりませんが、着実に進めていく所存です。

この企画は相川・梨沢地区で栽培させていただいたジャガイモの保管をお願いした縁から、カインズグループさんにお声がけいただいたものです。地区での活動が新たな活動に結びついていることを実感し、改めて皆様に感謝しております。

田植えのお知らせ

田植え担当の工学部システム創成学科3年の友清雄太（ともきよゆうた）です。4月29日と5月1日に田植えを実施するべく準備を進めています。昨年は新型コロナウイルスの影響で実施できなかった田植えですが、今年は感染対策に十分配慮した上で、各日日帰りで行います。新入生や新2年生には初めてとなる手植え体験。ぜひ自然と触れ合って相川・梨沢地区のことを好きになって欲しいなと思っています。

疫禍が収まったら、収穫したお米を使ってみなさんと一緒に料理などできればいいなと考えています。これから田植えの準備や当日、草刈り、収穫などで相川・梨沢地区を訪れる機会も多くなると思います。今後ともよろしく願いいたします。

ご当地グルメプロジェクト

理科一類1年の谷口侑（たにくちゆう）です。ご当地グルメ開発企画の紹介をさせていただきます。

この企画では「食」という観点から地域おこしを見つめ、新たなご当地グルメを開発することを目標として活動しています。

食について考えてみると、千葉県にはおいしいものがたくさんあることに気付かされます。どんな一品が出来上がるのか、とても楽しみです。

むら塾内作品コンテスト

広報デザイン部長を務めております、農学部国際開発農学専修3年の志賀智寛（しがちひろ）と申します。日頃よりむら塾の活動にご支援をいただきありがとうございます。

この度、むら塾内部での作品コンテスト「むら塾大賞」を実施いたしましたので、ご報告いたします。このコンテストは、「ポストカード部門」「文芸部門」「大喜利部門」の3部門で作品を募集し、むら塾メンバーの投票によって優秀作品を決定するもので、むら塾内部の活性化を目的にして実施されました。合計24もの力作が集い、その中で3部門の最優秀賞/優秀賞がそれぞれ決定いたしました。その結果と入賞作品を紹介させていただきます。



～結果発表～



🌸 <u>ポストカード部門</u>	🌸 <u>文芸部門</u>	🌸 <u>大喜利部門</u>
最優秀賞 藤盛 慎之介 作品⑤ 	最優秀賞 広瀬知弘 作品①	最優秀賞 武居悠菜 作品⑬ 「検定会場に、ちゃんと長靴を履いてくる」
優秀賞 広瀬 知弘 作品①  <small>(応募者が少なかったため特例)</small>	優秀賞 乗濱駿平 作品⑤	優秀賞 宇都裕太 作品⑥ 「出没する猿たちのリーダーとして群れを統率できること。」

新2年生インタビュー

新2年生は昨年度に交流の機会が少なく、仲を深めることがなかなかできませんでした。そこで、新しく1年生が入ってくる前に少しでもお互いを知り合おうという意図で2年生同士のインタビューを企画しました。6人という一部ですが、これからの東大むら塾を引っ張っていく学生を紹介します！

本田あやな
ほんだあやな
文科三類

Q むら塾に入った理由は何ですか？

A 説明会で販売部の先輩方が賑やかで優しく、心地良い居場所だと感じたからです。

Q 今後むら塾でやりたいことは何ですか？

A まだ現地に赴けていないので、行って現地の人々と交流したいです。

Q 出身地とそのPRをお願いします

A 生まれは宮崎県です。フルーツとプロ野球キャンプが見どころです。

鎌倉啓伍
かまくらけいご
文科三類

Q むら塾に入り飯館村で活動するようになった経緯を教えてください。

A 農業をしたいと思って参加しました。飯館村での活動に参加したのは、東日本大震災の被災地に実際に行きたいと思ったからです。活動では原発事故の汚染土があるなど事故のもたらした被害の大きさを痛感しました。

Q 今後取り組んでみたい活動はありますか？

A 地域の小中学生徒の交流活動を行いたいです。個人的にロシア文化に興味があり、また飯館村とロシアの繋がりもあるので、料理などを通じてロシアと飯館村の小中学生の架け橋になる活動などを考えています。

星葵衣
ほしあおい
理科一類

Q むら塾に入ったきっかけは何ですか？

A もともと将来はまちづくりに携わりたいと思っていたからです。

Q 去年に引き続きコロナの影響が心配ですね

A 全面オンラインで実施する予定になっています。先輩方が良い環境を作ってくれたので、それを引き継ぎ、改善できるところは改善していこうと考えています。

Q 出身地とそのPRをお願いします

A 福島県です。東西に長いいため自然がすごく表情豊かで面白いところが好きです。

杉山 詩歩
すぎやましほ
理科一類

Q むら塾に入ったきっかけは何ですか？

A 東大むら塾の「農業 × 地方創生」というテーマに興味をもちました。新歓で、先輩たちの雰囲気良かったのが入会の決め手です。

Q むら塾に入ってみてどうでしたか？

A 先輩たちの本気で取り組む姿があり、新入生のフォロー体制が万全だったので入って良かったです。

Q むら塾の活動で大切にしたいことは何ですか？

A 地域の人々の声に耳を傾けて活動していくことが大事だと思います。まだ、訪問がほとんどできていないですが、早く訪問して人との関わりを大切に活動していきたいです。

道正 咲子
どうしょうききこ
理科二類

Q むら塾に入ったきっかけは何ですか？

A 漠然と大学で農業をしてみたいという憧れがありました。新歓に参加してみたところ先輩方の暖かさに惹かれ、入会を決めました。

Q 実際に入ってみて雰囲気や活動内容はどうでしたか？

A もともとは農業をやりたいと入ったのですが、地域おこしもやっているサークルだと知りました。活動を通して、農業と地域おこしの二本立てでやっていくことの大切さを感じました。これからも地域との関わりを大切にしていきたいです。

Q 今後やってみたい活動は何ですか？

A 担当する田植え合宿が一番楽しみです。みんなが楽しく活動できるようにがんばります。

小林 万宙
こばやしひろ
文科二類

Q むら塾に入ったきっかけは何ですか？

A 自然が好きなのと、農業をしたいという思いからです。

Q むら塾でやりたいことは何ですか？

A 地域の方々と交流したり、地域の課題にもっと深く触れたいです。

Q 華麗なる経歴が聞きたいです！

A 幼少期を日本で過ごした後、中学2年で渡米し高校生までロサンゼルスにいました。アメリカだと、国籍の関係で授業料が高くなるのと、日本に住みたかったので日本の大学に行こうと決めました。

東大むら塾は Facebook でも情報発信を行っています。3月の下旬からは、訪問時に訪れた相川・梨沢地区の史跡を紹介しています。ここでは、紹介第一号となった天羽城跡の記事を掲載します。

その日は、晩秋の空が気持ちよく晴れ渡り暖かな日差しが降り注ぐ、絶好のハイキング日和。一年ほど前の台風の影響で長らく通行できなかった登山道が地元の方々の手で整備されたとのことで、地域の有志団体である天羽ふるさと活性の会の皆さんと一緒に、天羽城ハイキングに出かけました。道の脇には根こそぎ倒れた（地元の言葉では「根ごめ」というそうです）木がところどころに見られ、いまだに残る台風の爪痕を感じさせます。一方その影響で山道には光が差し込み、尾根からの眺めも良好で、以前訪れた時とはだいぶ印象を異にしていました。

天羽城は中世の時代、その自然地形を生かして山城として使われていました。山頂まで登る間にも、絶壁や崩れた石垣の跡、敵を狙い撃つための狭い切り通しなどが見られ、里見氏・北条氏・武田氏が三つ巴の争いを繰り広げたとも言われる戦国時代の天羽地域の荒々しい空気を肌で感じました。

頂上に到着すると視界が開け、ぐるりと周囲を眺望することができました。東には峰上城が、その反対側には火守神社が位置し、天羽城も含めて一直線に並びます。火守神社に立ち上る狼煙を視界に捉え戦闘に備えた武士の姿がありありと目に浮かぶようでした。

天羽城のある小字は、現在の地図に「天羽越」と記載されています。これは、昭和の土地調査での転記ミスが原因ではないかと推察されています。地域の誇りである天羽城の名前が、そのロマンある歴史とともに語り継がれることを願ってやみません。

アンケートのお願い

むら塾だよりを最後までお読みいただき、ありがとうございます。
今後のむら塾だよりをより良いものにしていくため、アンケートにご協力いただけますと幸いです。右のQRコードを読み取っていただくか、東大むら塾の公式メールアドレス (ut.murajuku@gmail.com) にご意見をお寄せください。よろしく願いいたします。

↓アンケートはこちらから



東大むら塾は、SNS でも情報発信しています。

公式 HP <https://today-murajuku.com>
Facebook <https://www.facebook.com/todaimurajuku/>
Instagram <https://www.instagram.com/todai.murajuku/>
twitter https://twitter.com/todai_murajuku

